

科目名	生活支援技術演習Ⅱ	担当講師	森川康弘・矢野芳春
授業形態・単位数	演習 60 時間・2 単位	開講学年	2 学年 通年
評価基準	筆記試験 40%・実技試験 40% ・レポート課題の提出状況等 20%		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次に習得した基本的な介護技術を応用し、安全・安楽に考慮した援助ができるようになる。 ・利用者の自立を尊重し、個々に応じた援助ができるようになる。様々な角度から介護技術を捉えられる力を養い、実践できるようになる。 ・終末期における援助について学び、介護福祉士の役割と生活支援のあり方について理解を深める。 		
回	講義内容	方法	
1	1年間の講義に向けて ～おしゃれとみだしなみの違い～	講義・演習	
2	複数名での移乗介助 (ベッド⇔車椅子等)	講義・演習	
3	複数名でのオムツ交換 (感染対策を意識した方法)	講義・演習	
4			
5	実習Ⅰ- (3) 実習前実技練習 (ベッド上での水分補給)	講義・演習	
6	実習Ⅰ- (3) 実技報告会	講義・演習	
7	前期実技試験告知		
8	褥法 (冷・温)・ポジショニング	講義・演習	
9	前期実技試験練習	講義・演習	
10	前期実技試験	講義・演習	
11			
12	入浴介助	講義・演習	
13			
14	福祉用具を活用した介護技術①	講義・演習	
15	福祉用具を活用した介護技術②	講義・演習	
16	福祉用具を活用した介護技術③	講義・演習	
17	実習Ⅱ 実習前実技練習	講義・演習	
18	介護技術報告会	講義・演習	
19	最終実技試験告知		

回	講 義 内 容	方 法
20	終末期：終末期の意義と介護福祉士の役割 (ターミナルケア)	講義・演習
21	終末期：死に対する心理の理解 (キューブラーロス)	講義・演習
22		
23	最終実技試験練習	講義・演習
24	最終実技試験	講義・演習
25		
26	終末期：終末期における介護技術 (エンゼルケア)	講義・演習
27	終末期：家族への支援の実際 (グリーフケア)	講義・演習
28		
29	まとめ	講義
30	筆記試験	試験
テキスト・参考書	新・介護福祉士養成講座 7 生活支援技術Ⅱ 第3版 中央法規 ※必要に応じて資料配布、他科目のテキストを使用する場合あり。	

【演習を行う際の注意事項】

- ・身だしなみを整え、教員の指示に従って演習に参加すること。
- ・安全に演習ができるように、集中して取り組むこと。
- ・介護実習室の物品を破損した場合、すみやかに教員に報告すること。